

## ● 出題の基本方針

世界史は、地域・時代ともに偏りなく出題することを基本方針とし、古代オリエント・ギリシア文明から近現代のアメリカ外交政策まで、幅広いテーマを設定した。リード文を読んで内容を正確に把握したうえで解答する形式を採用し、単純な暗記よりも歴史的な文脈の理解を重視した出題を心がけた。また、探究学習型のメモの正誤判断問題を取り入れ、知識を活用して論理的に考える力も問うた。

## ● 出題内容とねらい、採点講評

2025 年度入試より選択が可能となった世界史では、4 大問での出題となっている。ひとつの大問での出題は 10 設問程度で、各 2～3 点の配点を中心。

学校推薦型選抜と一般選抜で出題範囲が異なる。

- ・学校推薦型選抜 世界史探究（近世まで）
- ・一般選抜 世界史探究（全範囲）

## ● 学習上のアドバイス（参考）

世界史の学習においては、まず教科書の記述を丁寧に読み、各時代・地域の基本事項を確実に習得することが重要である。特に人名・条約名・出来事の年代とその内容を整理し、似通った事項どうしの混同を避けることが得点向上のカギとなる。探究学習型のメモ正誤問題については、それぞれの記述を個別に検討し、一方が正しくても他方が誤りである場合を見落とさないよう注意が必要である。また、地図問題では都市や国家の位置を資料集でしっかり確認しておくことが望まれる。ヨーロッパ・中東・アジア・南北アメリカと地域をまたぐ横断的な学習を通じて、各地域の歴史が相互にどう関連しているかを意識しながら学習を深めてほしい。